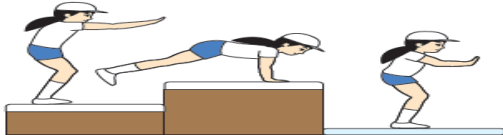



7. 学習指導・評価計画      3年   跳び箱運動      (45分×6)

過程	はじめ		なか				まとめ	
時	1		2	3	4	5（本時）	6	
学習のねらいと活動	学習のねらいや進め方を知り、単元全体の見通しをもつ。		感覚づくりの運動をしたり、自分の力に合っためあてをもって開脚跳びに取り組んだりして、跳び箱運動を楽しむ。				学習の成果を発表し合って、跳び箱運動を楽しむ。	
	<div>1. 学習のねらいや進め方を知る</div> <div>・ 技の内容とポイント</div> <div>・ 単元全体、1 単位時間のすすめ方</div> <div>・ 学習カードの使い方</div> <div>・ 器械・器具の準備等、役割分担等</div> <div>2. 感覚づくりの運動の仕方を理解する</div> <div><div>(1)踏み切りにつながる感覚づくりの運動</div><div>(2)空中の姿勢制御や着地につながる感覚づくりの運動</div><div>(3)着手につながる感覚づくりの運動</div><div>(4)逆さになる（回転）感覚づくりの運動</div><div>(5)開脚とびにつながる感覚づくりの運動</div></div> <div>3. 学習のまとめと後片づけをする</div>		<div>1. めあてや学習の進め方を確認する。</div> <div>2. 感覚づくりの運動をする。</div> <div><div>(1)助走して両足ジャンプ《踏み切りにつながる感覚づくりの運動》</div><div>(2)その場からジャンプでいろいろなポーズをとる《空中の姿勢制御や着地につながる感覚づくりの運動》</div><div>(3)足たたき、うさぎとび《着手につながる感覚づくりの運動》</div><div>(4)足を高く上げて立ち上がる《逆さになる（回転）感覚づくりの運動》</div><div>(5)馬跳び《開脚とびにつながる感覚づくりの運動》</div></div> <div>3. 開脚跳びの学習をする。</div> <div>・ 学習カードを活用しスモールステップの運動課題に取り組む。</div> <div><div><div>活動 1</div><div>○助走なしの開脚跳びをする。</div><div></div></div><div><div>活動 2</div><div>○開脚跳びをする。</div><div></div></div></div> <div>4. 学習のまとめと後片づけをする</div>				1. 発表会の進め方を確認する。	
							2. 学習の成果を発表する。	
						3. 友だちのよい所を認め合う。		
						4. 単元全体のまとめをする。		
指導者の支援	○単元のねらいを理解させ、1 単位時間の学習の進め方や単元全体の見通しをもつことができるようにする。		○感覚づくりの運動を通して、跳び箱運動の基礎的・基本的な感覚が身に付くようにする。				○発表会の約束やマナーを守って、取り組むことができるようにする。	
	○感覚づくりの運動の仕方や技のポイントを理解し、学習意欲を喚起できるようにする。		○学習カード等から学習の方法が理解できるようにする。					○発表会では、互いの学習の成果を認め合うことができるようにする。
	○学習資料や学習カードの使い方を理解し、自分の力に応じためあてをもつことができるようにする。		○それぞれの課題のポイントについて理解できるようにする。					
具体的な評価規準の一例	【技能】		感覚づくりの運動ができる。				基本的な支持跳び越し技（かいきや開脚跳び）ができる。	
	【態度】	跳び箱運動に関心をもって取り組もうとしている。	場の危険物を取り除いたり、器械・器具を安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめようとしている。					
	【思考・判断】	自分の力に応じためあてをもつことを理解している。	友だちのよい動きを見つけている。					基本的な技の動きやポイントを知り、自分の力に合った課題を選んでいる。

4. 学習のまとめと後片づけをする

